第１号様式甲

令和8年5月22日

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事　　殿

設置者
住　所 東京都目黒区上目黒2-19-15
氏　名 目黒区長　青木　英二

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第５章１（１）①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			八雲小学校内学童保育クラブ							
2	学童クラブの所在地			郵便番号	152-0023	住所	東京都目黒区八雲2 - 5 - 1（八雲小学校内）				
3	設置・運営形態			公　設　民　営							
4	設置主体	名称		目黒区							
		住所		郵便番号	153-8573	住所	東京都目黒区上目黒2-19-15				
		代表者		目黒区長　　青木　英二							
5	運営主体	名称		株式会社セリオ							
		住所		郵便番号	530-0003	住所	大阪府大阪市北区堂島1-5-17　堂島グランドビル８階				
		代表者		代表取締役　平田　敬							
6	学童クラブ事業開始年月			令和	2	年	4	月			
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	7	年	4	月			
8	支援単位ごとの状況（※1）	支援単位1	専用区画面積	図書室	138.52	㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）		6.59	㎡	
			児童数	21	名						
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）		2	名	放課後児童支援員（非常勤）	1	名	
				補助員（常勤）		1	名	補助員（非常勤）	3	名	
9	開所時間	平日		放課後から		19時	まで				
		土曜日・長期休業期間		8時	から	19時	まで				
10	国庫補助の有無			有							
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有							
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有							
13	長期休業期間中の昼食提供			有	夏季休業期間	24（42日）	日間提供（夏季休業期間の全日数）	提供方法	学童クラブ外部からの搬入（区市町村による手配）		
				有	冬季休業期間	4（13日）	日間提供（冬季休業期間の全日数）	提供方法	学童クラブ外部からの搬入（区市町村による手配）		
				有	春季休業期間	4（12日）	日間提供（春季休業期間の全日数）	提供方法	学童クラブ外部からの搬入（区市町村による手配）		
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無		有（別紙様式２のとおり）							
		多様な遊びや体験活動の実施有無		有（別紙様式２のとおり）							
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有	令和	6	年度	受審済み			
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）										
17	利用料	月額		0～9,000	円						
		協議書提出有無（月額利用料14,000円を超過する場合）									

※１　支援単位が２つ以上となる場合は、第１号様式乙に記載ください。

第１号様式乙

支援単位名	支　援　単　位　ご　と　の　状　況								
支援単位２	専用区画面積	家庭科室	97.11	㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）		4.62	㎡
	児童数	21	名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）		2	名	放課後児童支援員（非常勤）	1	名
		補助員（常勤）		1	名	補助員（非常勤）	3	名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名
	専用区画面積	（部屋名）		㎡	（児童数で按分したときの１名あたりの面積）			㎡
	児童数		名					
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）		名
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）		名

別紙様式２

活　動　内　容　の　詳　細

第１号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

１　児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容
1. 子ども会議の開催 定期的（月1回程度）に開き、活動内容やルールについて子ども同士で話し合う 話し合いのテーマ例：新しい遊びのアイデア、誕生日おやつリクエスト、「片付けのルール」など生活面の改善案 2. 意見箱・アイデアボードの設置 子どもたちが自由に意見や提案を書いて入れられる箱を設ける 職員が定期的に中身を確認し、可能な範囲で実行に移す 3. 子どもによるイベント企画 夏祭りや誕生日会などの行事を、子どもが計画から関われるようにする ポスター作成や役割分担も子どもが主導 4.リーダー活動 高学年が学童の「お兄さん・お姉さん」として活動をリードする 下級生からの意見を集める役割も任せることで、多学年交流の中で意見が活かされやすくなる

２　多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎　日		ランランひろばの活動場所である、校庭、体育館を利用して毎日身体を動かす遊びを行っている。 例：鬼ごっこ、サッカー、縄跳び、野球、一輪車、ドッジボール、アルティメット、リレー、バトミントン、卓球等 ランランひろばでの身体を動かすイベントへの参加 みんなであそぼう、各種大会（天下大会、ドッジボール大会）
「製作活動等」	毎　日		学童内、ランランひろばでも毎月制作活動を行っている。 日常的に廃材工作等も行っている。 5月：ストラップ、6月：紙コップカエル、カプセルキーホルダー、7月ブレスレット 近隣児童館による出張児童館での工作活動　5月：くるくるへび、6月：ぱっちんかえる、7月：UFOパチンコ
「地域の文化等に触れる体験」	10	回	近隣児童館や学童保育クラブと連携した行事を開催し、地域の方たちとの交流を図る。　地域のボランティア団体「りぷりんと目黒りあん」のスタッフが月1回学童で読み聞かせを行う。 住区住民会議主催行事へのコーナー参加 大学生による学童施設のボランティア 近隣中学生の職場体験の受け入れ 地域の住区住民会議への参加
「自主学習」	毎　日		学習タイム：登所後３０分間は学習時間を設けている 学校休業日は、朝の時間に30分程度の学習時間を設けている 子ども達は、宿題や家庭の課題、習い事の課題など各自でおこなう
「児童の意見を反映させた行事」	12	回以上	定期的に子ども会議を開催し、子どもの意見を取り入れた遊び内容や、毎月おこなう誕生会でのおやつを決める　意見箱を設置し、日常使う遊具や図書の希望をとり、購入をする　学童保育クラブ主催行事で内容を子ども達と相談して決めて、計画する。

３　要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は　い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は　い